米作り体験隊　　第２回　報告　　（２０１６．７．２）

■　７月２日　朝、田んぼの観察をしてきました。

田んぼの全面に水が行き渡り、稲は日差しを受けグングンと成長しています。

水の取り入れ口

側溝からパイプを通して水が入ります。

側溝に流れてくる水の量が大切です。地元の土木組合の方々が見回りをしながら管理しています。

田んぼからの水の出口です。仕切りの上を水が流れます。仕切りを高くすると田んぼの水の量が多くなります。田んぼ内の水は多すぎてもいけません。

稲の生育のため微妙に、適量を調節します。

■　稲の生育を測定するメジャーを立てました。

白い帯のメモリ１段が１０ｃｍです。一番伸びている稲は３０ｃｍになりました。

全体に成長し、生えそろっている様子が分かります。　大山は雲の中に隠れて見えません。

今年は１９家族が参加し、お子さんたちも多数、前回の報告にその姿が見えます。田植えの時は泥まみれになり苦労しましたが、稲は大切に育てられ、その甲斐あって、成長を続けています。

向かい側の試験農場と北東方向を見ています。稲の背丈がほぼ同じ、見渡すとサッカー場や野球場の芝生のように見えます。秋になると、ここ一面、稲穂となり、お米となります。

田んぼに近づいてみると、この通りです。

どうしたのかな、１・２列目はカーブになっています。

不慣れな田んぼ、足を気にし、植え方に気をとられた結果でしょうか・・・。
ふらつきました。

こちらは、ベテラン組と機械植えの境界です。手植えは少々湾曲していますが、

さすがです。機械は整然と植えられていることが分かります。コンバインでの刈り取りにはこうでないといけません。秋の刈り入れの時を楽しみにしてください。

■　花菜ガーデン入り口のフラワータワーです。

周囲にブルー・ホワイトのサルビアが植えられています。